

## 1 研究主題，研究内容等について

## ①研究主題

**主体的に学ぶ児童生徒を育成する教育活動の創造  
－児童生徒の問いが生きる「考える授業づくり」を通して－**

## ②主題の設定理由

問いを発する授業づくりを通して主体的に学ぶ児童を育成するために、「川尻中学校区の授業モデル」をもとに、授業改善を図ってきた。具体的には、「課題をつかむ」段階では、予習や既習事項を生かし疑問や課題意識をもって授業に臨ませたり、単元や本時の目標を明確に意識させ授業に臨ませたりするようにした。「集団思考」の段階では、児童から出る問いや考えを想定し、自分の考えを広めたり深めたりできるような対話を取り入れた。「まとめ」の段階では、学習内容の精緻化を図るため、キーワードを活用するなどして自分の言葉でまとめさせ、「振り返り」においては、新たな問いや自分の課題が明確になるようにした。また、昨年度から個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指すような授業づくりを行ってきた。

このような授業改善により、次のような成果が見えてきた。

- ①個別最適な学びと協働的な学びの一体化を取り入れたことで、個に応じたワークシートやタブレットの活用が増え、グループでの対話も活発になり、主体的に学ぶ児童が増えた。
- ②個人で考えたことをグループで交流し、他者の考えを取り入れながら、自分の考えをさらに深めることで、個の学びが深まり、達成感を感じる児童が増えた。
- ③単元づくりにおいて、単元を貫く問いと個別の問いをつなげ、児童自身がその問いを意識しながら学びを進めていくことで、主体的に学ぶ児童が増え、集中力や意欲の高まりを感じた。

一方、個別最適な学びと協働的な学びの一体化では、実践事例が少なく、授業準備に時間がかかり、授業を組み立てることが難しいという課題もあった。また、児童の個人差が大きく、学力が低い児童への支援が十分にできていないという実態もある。問いを追求する場面では、教師のファシリテートする力も必要になる。

次年度は、「主体的に学ぶ児童生徒を育成する教育活動の創造」のため、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を意識し、「川尻中学校区の授業モデル」をもとに、「児童生徒の問いを生かした授業づくり」について引き続き研究を行っていく。

主体的に学ぶ児童の育成では、単元全体の付けたい力を明確にし、児童にそれを意識させて学習に取り組ませる。単元を通して、児童が自分に合った学び方や表現方法などのコツを示し、自己選択できるような活動を取り入れていく。さらに、振り返りでは、児童が付けたい力を児童自身に具体的に意識させながら自分に身に付いた力や課題をモニタリングすることで、より主体的に学ぶ児童が育成できると考える。

また、実践事例が少ないという課題に対しては、研究で作成した資料やワークシートなどを、毎年保存していくことで、次の学年の授業づくりに活用していけるようにする。

さらに、主体的な学びにはそれを支える学力が何よりも重要になってくる。学力向上のため昨年度より取り入れていた課題のある学年に対する複数体制での指導、読解力の向上のための補助教材による読みの学習、「書く」活動の指導の充実、キュビナを取り入れた自主学習の充実を引き続き行っていく。

また、教師のファシリテート向上のため、研修を行っていく。

## ③研究仮説

1人1人が思考を働かせる場を位置付けた「川尻中学校区の授業モデル」を基に、児童の問いを生かした授業づくりを工夫し、児童が主体となる課題解決を積み重ねていけば、児童の自ら学ぼうとする意欲が高まり、学習内容が定着するであろう。

#### ④研究内容

- 「川尻中学校区の授業モデル」の実施をする。特に問いを追究する授業づくりにおいて個別最適な学びと協働的な学びの一体化に重点を置いて研究を進めていく。
- 国語科・算数科において、各学年の指導内容が身につくよう、基礎学力の充実を図る。  
(読書、キュビナタイム、マナビータイム、「書く」活動の充実等)
- 家庭学習習慣の定着を図る。特に予習については授業に生かしていただけるように工夫改善を行う。  
学年に応じた家庭学習時間、宿題・自学・予習の実施率の向上のための保護者啓発を継続して行う。

#### ⑤検証の指標

- 児童アンケート・教職員アンケートの結果。
- 基礎学力の定着率。(学期末のまとめテストの正答率, 全国学力・学習状況調査, 標準学力調査の正答率)
- 家庭学習習慣の強化キャンペーン時の達成率。(宿題・自学・予習の実施率)

### 2 検証計画

- アンケートの実施  
児童・教職員。時期：1学期末・2学期末・3学期末。  
アンケートの結果を各部で分析し、改善策を立てて次学期に取り組む。
- 学力調査の結果分析を行い、課題を明らかにして改善策を立てる。  
(各学年の学期末まとめのテストや標準学力調査, 6年生の全国学力・学習状況調査等)
- 学期に1回の強化キャンペーンの実施

### 3 校内研修計画

月	研修内容	担当	研修講師	形態
4	授業づくり研修会① 「本年度の研修について」	研修部		全体研
5	小中一貫合同研修会 (兼「幼保小中顔合わせ会」)  授業づくり研修会② 「模擬授業」	小中一貫教育 CO・幼保小一 貫教育 CO	呉市教委指導主事 ( )	幼保小中 合同研修
6	授業研究 ( ) 科) 第 学年 組	( ) 学年 部会	呉市教委指導主事 ( )	全体研
9	授業研究 ( ) 科) 第 学年	( ) 学年 部会	呉市教委指導主事 ( )	全体研
11	小中一貫教育合同研修会 (中学校第 学年の授業参観) ( ) 科) 第 学年 組	中学校	呉市教委指導主事 ( )	小中合同研
1	小中一貫教育合同研修会 (小学校第 学年の授業参観) ( ) 科) 第 学年 組	小学校	呉市教委指導主事 ( )	小中合同研

### 4 研究公開の予定について

公開日	令和8年11月 日 ( )
タイプ	普及型・提案型 <b>報告型</b>
公開の範囲	地域・保護者
公開内容	道徳科授業